学校番号	104

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次 （普理・理）
使用教科書	「地理総合 世界に学び地域へつなぐ」（二宮書店） 「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編フォトグラフィア地理図説」（東京法令出版） 「地理統計要覧　2026 年版・Vol.６６」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理総合では、自然地理と人文地理に対する知識を幅広く習得したうえで、それらを効果的に活用するスキルを身につけることを目標にしています。常に視野を広く持ち、さまざまな角度から物事を見る目を持つことが重要です。

2　学習の到達目標

・現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を養う。
・現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養う。
・地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	球面上の世界	地球上の位置情報の基礎として，球体としての地球，緯度・経度の基本的なしくみ，地球上での位置の示し方を理解する。	a: 地球上での位置，太陽高度の変化，緯度経度のしくみ，時差の計算について理解できる。 b: 球体としての地球の観点から，図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え，説明できる。 c: 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し，作業や考察に取り組むことができる。	課題	課題	課題
	日本の位置と領域	・図法によって異なる世界地図の特色を捉え，スケール，視点，図法などを変化させながら，世界における日本の位置を理解する。 ・グローバルな立場から日本の領域を理解するために，国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら，日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。	a: 世界地図の主な図法と利用について理解できる。国家の領域に関する知識を身につけ，日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できる。 b: 世界地図を図法の違いにより使い分けることができる。日本の位置と領域について世界的視野から捉え，日本の領域をめぐる問題を考察できる。 c: 様々な世界地図の違いに関心を持ち，資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができる。日本の領域に関する問題について，意欲的に探究し，海洋資源の問題とともに考えることができる。	考査	考査 課題	課題

	国内や国家間の結びつき	・グローバル化が進む世界において，国家間の協調や不均衡を理解するために，世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。 ・交通・通信，貿易・物流，観光の視点から，人やもの，情報，資本・サービスの移動のようすについて，統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 ・グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために，資料を根拠として示しながら課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。	a: 人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につける。統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につける。主題に対して適切な統計地図を作成できる。 b: 複数の統計地図を結びつけ，世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できる。地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できる。 c: 統計資料を意欲的に読み取り，それを表現できる。統計地図の作成に意欲的に取り組むことができる。	考査	考査 課題	課題
	暮らしのなかの地図とＧＩＳ	・身近な地図を集め，それらの地図の特徴を捉え，地図情報の有用性を理解する。 ・地図情報を活用する方法として，紙地図と電子地図としての GIS があることを理解し，地理院地図や地形図を通して認識する。 ・GISが日常生活にも利用されている実例を捉え，大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法，そのしくみについて理解する。 ・GISで作成した地図を重ね合わせ，地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。	a: GIS の特徴や利用方法，そのしくみについて理解し，GIS で作成した地図を重ね合わせ，地域の特徴を分析する方法を身につける。地理院地図やひなた GIS などインターネット上の GIS の機能を利用し，地理空間情報を活用できる。 b: 身近な地図について，目的により表現方法に違いがあることが判断できる。紙の地形図と電子地図の用途や活用について，地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できる。 c: 身の回りの地図に興味を持ち，意欲的に地図の知識を活用できる。GIS の作業に意欲的に取り組み，GIS で作成した地図から地域の特徴を分析しようとする。	考査	考査 課題	課題

	地形と生活文化	・世界の大地形の広がりがプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し，変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し，地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。 ・河川，海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり，およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について，写真や地形図などの資料を通して考える。	a: 地形についての知識を身につけ，世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができる。地形図から等高線や地図記号などを判読し，地形の特徴や土地利用を捉えることができる。 b: 世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ，世界の地形配置と比較しながら考察できる。生活している地域の地形の特徴について，写真，地形図などから捉え，人間生活との関連を考察できる。 c: 地形図や分布図，写真，模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み，地形と人間生活とのつながりを捉えようとする。	考査	考査 課題	課題
	気候と生活文化	・世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え，地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 ・降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え，植生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。 ・熱帯，乾燥帯，温帯，亜寒帯，寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか，どのような生活の工夫があるのか，写真や雨温図などの資料から考える。	a: 大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できる。各気候の分布の特徴を理解できる。雨温図や写真から情報を抽出し，各気候と植生の対応や，それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り，整理できる。 b: 世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できる。気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できる。写真などの資料をもとに，各気候により景観が異なることを捉え，農業や生活への影響を考察できる。 c: 雨温図や写真の判読を通じて，世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できる。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。	考査	考査 課題	課題 発表

	産業と生活文化	・世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え，世界スケールにおける第1次産業，第2次産業，第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。 ・産業の発達と生活文化がどのようにかかわるのか，産業はどのように変化してきているのか，主題図などの資料を通じて理解を深める。	a: 世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できる。主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができる。 b: 自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できる。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できる。 c: 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できる。産業が発達し続けていることを，時事的話題とともに意欲的に捉えようとしている。	考査	考査 課題	課題 発表
2	世界各地の生活文化	各地域の生活文化と地理的環境の関わり 東アジア ASEAN諸国 南アジア イスラーム圏 アフリカ EU諸国 ロシア アメリカ・カナダ ラテンアメリカ オセアニア	a: 図版や写真から多民族社会を構成する地域的な特徴を捉え，生活文化との対応や経済の変化を整理できる。世界各地域の多様な民族が暮らす国々が統合を進めていった背景や課題について理解できる。 b: 写真に見られる共通性と異質性をまとめたうえで，写真と地図を組み合わせて考察し，世界各地域の生活文化を説明できる。紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できる。 c: 自然環境と生活文化の相互の関連を捉え，開発の背景について意欲的に探究できる。都市問題や経済問題，環境問題などについて意欲的に調べ，その要因と解決について協議できる。	課題	課題	課題

	地球環境問題	・持続可能な地球社会を考えるうえで，地球規模で起きている環境問題は，一国だけで対応できるものではないこと，多面的・多角的に考えていくことが必要であること，自らとかかわる問題であることを SDGs をふまえて認識する。 ・深刻な地球環境問題を生じている大気汚染，森林減少，砂漠化，気候変動について事例をあげて捉え，それぞれの影響と将来の予測から解決の取り組みについて考える。	a: 持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できる。国際機関のウェブサイトや主題図，統計資料などから，環境問題の現状や原因を情報収集できる。環境問題の現状を捉え，原因や影響を図解して整理できる。 b: 世界のどこで，どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ，持続可能な社会の実現に向けた提案ができる。SDGs の目標をふまえ，海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できる。 c: 地球環境問題のしくみや原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し，どのような行動ができるかを追究できる。	考査	考査 課題	課題
	資源・エネルギー問題	・地球規模で起こる資源の問題について主題図などの資料をもとに考え，偏在して分布することで保有国と非保有国との間に格差があることを認識する。 ・エネルギー資源の変化を捉えながら資源の大量消費によって枯渇の恐れがあることを認識し，これらの解決のための取り組みを SDGs と関連づけて考える。	a: 主題図から資の分布が偏在していることを理解できる。限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できる。 b: 主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し，SDGs の目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できる。 c: 日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ，その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し，持続可能な利用について追究できる。	考査	考査 課題	課題

	人口・食料問題	・人口が急増している世界の現状を捉えるとともに，人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え，人口問題の背景や問題点を整理する。 ・持続可能な社会をつくるために，飢餓とその要因である人口問題，食料問題について，主題図やグラフなどの資料を集め，グローバル，ローカルのそれぞれ異なる視点から根拠をもとにSDGsと関連づけ対応策を構想する。	a: 世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し，人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できる。人口資料をもとにした図版を読み取り分析することができる。世界の食料問題を主題図などから現状を認識し，その自然的，社会的な背景を理解できる。 b: 世界の人口問題の現状を資料を比較しながらまとめ，日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できる。飢餓と飽食の世界的な分布を主題図やグラフなどの資料から考察し，その背景とSDGsの目標をふまえ，とくに栄養不足人口が多いサブサハラを例として対策を協議できる。 c: 世界や主要国の人口の推移を捉え，他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究できる。人口問題と食料問題をそれぞれ捉えながら，両者のつながりを図表などを用いて意欲的に整理し，国際社会の一員として取り組む国際協力を具体的に追究できる。	考査	考査 課題	課題

	居住・都市問題	・世界では都市に人口が集まる現象がみられることを主題図やグラフから読み取り，人口が集まる都市内部の構造を景観をふまえ理解する。 ・途上国の大都市を中心に人口集中に伴う問題が生じていることを捉え，問題の要因を理解しながら，都市の問題の改善を目指した都市計画を取り上げ，SDGs と関連づけ都市問題の解決策を考える。	a: 世界の視野で都市人口率の増加を捉え，都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえながら都市の構造を理解できる。人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理できる。 b: 都市への人口集中を主題図やグラフから捉え，都市と農村の景観を比較しながら考察できる。人口集中と都市問題の発生，途上国と先進国の都市問題を通じ，人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し，SDGs の目標とともに解決の方策や課題を提案できる。 c: 世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え，都市問題の事例をもとに多角的，多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究できる。途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に，国際協力の立場で課題解決に結びつけることができる。	考査	考査 課題	課題 発表

3	日本の自然災害と防災	・日本列島の地形と気候の特徴を主題図，グラフ，写真などの資料をもとに，多様性や自然の恩恵があることを認識しながら，自然災害を与える要素があることを理解する。 ・日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため，風水害，火山，地震・津波，都市型の災害の具体的な事例について，新旧の地形図，ハザードマップ，気象情報，電子地図などを利用する技能とともに捉える。 ・自然災害はどのような自然環境と関係しているのか，それに対する備えはどうすれば良いのか考え，居住地域での防災・減災意識の向上につなげる。	a: 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できる。日本列島における自然災害について具体的事例を通じて，災害のしくみや特徴，地域性，防災への取り組み方や課題を理解できる。地形図やハザードマップを活用し，防災と避難行動について考察する技能を身につけることができる。 b: 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できる。日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り，それをふまえて自然災害時の対策を考察できる。自らの生活圏の防災について，資料から適切に判断し，課題と避難行動を協議できる。 c: 自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し，過去の災害事例を調べることができる。GIS などを活用し，自然災害への対策を意欲的に探究できる。災害発生時の自助・共助・公助をふまえ，身近な地域で発生が予想される場面を想定して，意欲的に対策を検討できる。	課題	課題	課題

	生活圏の諸課題と地域調査	・日本が抱える地域的な課題について，身近な地域を例に取り上げ，人口の少子高齢化，過疎化について景観観察や聞き取りを通じた調査の技能を身につける。 ・現地調査と統計資料によって得られた結果を主題図などにまとめ，他地域と比較して考察する技能を身につける。 ・調査結果をもとに，地域の活性化に向けたまちづくりのプランを発表する。	a: 地域的な課題についての調査法を身につけることができる。統計資料を収集し，それを主題図に表現する方法を身につける。調査結果を主題図などにまとめ，他地域と比較して考察する技能を身につけることができる。 b: 調査で得られた結果を，主題図や表などに整理できる。得られた資料を根拠にして，地域の特徴や課題を見つけ，まちづくりのプランを構想できる。 c: 身近な地域に様々な課題があることを見出し，意欲的に主題図やグラフなどを資料を作成できる。主題図などの調査結果を根拠にして，意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し，発表できる。	考査	考査 課題	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度